

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	2	敷地内で運動できるスペースが欲しい
	2	職員の配置数は適切であるか		5	3	日により利用者が多く不足を感じる時がある。利用者一人一人の病態に対して職員数が少ない。特にてんかん発作がある利用者。暇そうな職員もいる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		廊下やトイレに手すりが欲しい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	7		夕礼の際に話し合いが必要だと思う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	1	アンケートは取っているが繁栄はされていないように感じる。話し合いがない、共有もないので話し合いは必要だと思う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	5		偏りがあるかもしれない。てんかん発作や嘔吐物処理券集を作成中。看護師を中心に対応する。人による、情性敵になる事も
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	6	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	4	3	一部の職員に集中してしまう傾向がみられる。一部の人に頼りがち。全職員が活動プログラムを積極的に提案できるようにしたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		6	2	積極的に支援できるようにしたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	4	3	軽度～重度の利用者がいるため個々に合った内容を決めていく必要がある。一人一人が考える姿勢を持ちたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	4	3	実施が難しい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4		朝の会を行っている。夕礼だけでは前日の情報共有だけで終わってしまうのでもう少し当日の打ち合わせに時間を使いたい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		4	4	帰りの送迎で終業時間近くになることもあり、ほかにやることもあるので当日には難しい。日報やメモで残す。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	5		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	4		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	6	1	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3		医ケア児の場合は看護師に同行をしてもらう
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		連絡がなかったり、情報の違いもあるため保護者との共有が多い。お便り、HP等で確認をしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4	1	緊急時の連絡体制はある
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	6		必要があれば教えていただいている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	5		出来る限りの情報共有をし、スムーズに移行できるようにしている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5		受ける頻度が少なく、また受ける対象者にも偏りがある。PT/OT/ST等個別作業についてや、食事介助重度を預かる事業所であるからそれに必要な研修を増やしていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	3	他害があったり、急な動きがあるため障害の無いこととの交流は全然ない。話し合いが必要
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		5	3	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		6	2	職員に知識がないので今後行っていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	6		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	3		時間があるときにはコミュニケーションを多く取って医療面に対する内容等行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	6	保護者会や親子参加型イベントの開催の希望もあるので計画していく

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	3		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		毎月通信やSNSで発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	3		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	4	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	5		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	5		行っているが不十分だと思う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	3		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		1	今のところ食物アレルギーのある利用者はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	2	